

No.529

2018.10.15

KINZOKU DANCHI NEWS Since1974

金属団地ニュース



岐阜県金属工業団地協同組合



9月度月例会開催

9月25日(火)正午より組合研修センター 3階集会室において9月度月例会が開催されました。今回は講師に(株)サイエンスネット 代表取締役社長 深井隆司氏をお招きし、『TOPが考えるIoT』をテーマにご講演いただきました。最近よく耳にする3つのキーワード、IoT、ICT、AIについて、まずはIoTで多くの情報を集めることが重要であり、そこから情報を処理するICTを経て、集めた情報を使って比較したり考えたりするAIに繋げてゆく流れを学びました。

また、月例会に先立ち各務原市産業活力部 産業政策室長 稲垣香代子氏により、先端設備等導入計画に係る説明会開催についてが話されました。



消防訓練開催

金属団地自衛消防隊による消防訓練が、9月19日(水)の正午より開催されました。

今回は東海ダイカスト工業(株)本社工場敷地内にあります防火水槽を使つての放水訓練を行ったのですが、可動式ポンプを経由して放水される水圧にいつもの勢いがありません。ポンプの水圧を上げても変わらず、色々触っている間にポンプのエンジン自体が掛からなくなっていました。前日に消防車と可動式ポンプを業者に点検してもらったばかりだったことから、操作手順に誤りがあったのかもしれません。毎回順調に訓練をこなしていましたので、心の油断がどこかにあったことも否定できません。火災現場でなくて本当によかったです。何が原因で今回の状況になったのかをしっかりと検証し、次回の訓練や火災現場では最善の行動がとれるよう気を引き締めたいと思います。



衛生週間準備パトロールの実施

9月20日(木)の8時30分より衛生大会プレパトロールが金属団地内で行われました。このプレパトロールで指摘を受けた箇所については、10月1日の衛生大会までに改善を行います。





ナゴヤドーム観戦ツアー開催

9月1日(土)、中日ドラゴンズ×読売ジャイアンツの観戦ツアーを開催しました。金属団地の恒例行事となりましたこのツアーに13社93名が参加し、中でも子供の参加者が22名と大変賑やかとなりました。

事前に割り振られたバスへ乗り込み、大型バス2台でナゴヤドームへと向かいました。

出発前の乗車人数・チケットの確認、参加者にお菓子の配布や車内アナウンス等々お手伝いをしてくださった青年部のお二人には感謝申し上げます。今回は小栗労務委員長にご参加いただきまして、このツアーが組合行事の一環であることを再認識いたしました。

生憎の天気でしたが、直接雨に降られることなくドーム到着。バス移動は電車移動より時間がかかりますが、こういったところが良いところですね。

この日は「テレビ愛知開局35周年感謝デー」ということで入場時にグッズ(?)の配布、ブースが設けられていました。テレビ愛知の野球中継といえば、過去にはミュージックスタジアムと称し副音声でビートルズの曲を最後まで流すなど、現在では解説2人と進行役の女子アナ1人で中継をして従来の形にとらわれず視聴者を楽しませています。

試合開始まで、それぞれ時間を過ごします。背番号99のレプリカユニフォームがよく目につきます。グッズの売店の一角に専門コーナーが設けられ、人気は衰え知らず。観客動員数が伸びたのもきっと彼のおかげでしょう。

ヒゲでお馴染みアルモンテのグッズでパシャリと記念撮影、インスタ映えでイイネがもらえそうですね。あっという間に時間が過ぎ始球式セレモニーが始まりました。特別ゲストとして村上佳奈子(タレント・元フィギュアスケート選手)、田中直樹(芸人)、蛭子能収(漫画家)が登場。場を盛り上げます。そして最後に素晴らしいゲストが控えておりました、そう、ミスタードラゴンズこと立浪和義さんです。割れんばかりの大歓声の中颯爽と登場し、ドームを更に盛り上げます。始球式のマウンドには元フィギュア選手、バッター立浪さん、キャッチャーは芸人、審判は漫画家、おそらく今日しか見られないであろう光景を目に焼き付けました。

セレモニーも無事終え14時プレイボール、ピッチャーは高卒2年目藤嶋君、投げっぷりのよさで実績を積み先発のローテーションを掴みました。初々しさもあって好きな投手です。

さて、僕らをじい〜んとしびれさすこの日の結果は青年部ページをご覧ください。尚、初回にファールボールが金属団地で観戦するエリアに飛び込み、転がるボールを少年が見事ゲット!! いい思い出になったことでしょう。

ご家族や会社の仲間で交流を深める機会としてこのツアーをご利用いただければ幸いです。参加された皆様お疲れさまでした。





2年連続の同窓会

K・T

9月の初め頃、高校の同窓会が開催され出席した。同窓会というものは、何年かに1回というペースで行われるのが普通なのだが、2年連続で開催された。去年は「喜寿の同窓会」、今年は「満年齢での喜寿同窓会」と銘打って。主旨は「人生も週末が近づいており、元気な間に旧交を温めておこう」ということです。同期生は550名だったが、そのうち亡くなった人が96名で、この1年で16名が亡くなっている。この現実が2年連続の同窓会へと繋がった。

その同窓会で印象に残ったことを書き留めると、

92歳になられた恩師のこと

男子81歳の平均寿命をはるかに超えて矍鑠なる姿を見せられた。指名されたスピーチでは、昨年ノーベル文学賞を授与された日系英国人のカズオ・イシグロ氏の受賞記念講演での内容に触れ、「長崎生まれの氏が日本に抱く思いが氏の作風に深く関わっている」として同窓の体験が自分達の今に大きく影響しているのではないかと締めくくられた。92歳にして10分間にわたる話をほとんど淀みなくされた。

これには驚かされたと同時に77歳の自分の今後の過ごし方について強い刺激を受けた。

60年ぶりにあった同級生のこと

彼は卒業以来一度も同窓会に出席したことがなかったが、今回初めて参加ということで千葉からやってきた。訳を聞くと最近立て続けに親しくしていた同級生の訃報を聞き、残された人生の少なさを実感し元気なうちに皆に会おうと強く駆り立てられた、ということであった。その彼は、長い不在の穴を埋めようとしてか食事もそこそこに、皆の席を回って握手の連続であった。その姿はほのぼのとした感情を皆に植え付けた。

今だ仕事に燃えている同級生のこと

NTTのOBである彼。東日本大震災の経験から、地震速報のあり方に着目し、突然中断すると修復に多大な時間と費用がかかるプラント(特殊洗浄装置等)が多数存在する。地震に際し数秒前に速報が届けば、手順を追って操業をストップでき、再開も通常の手順を踏めばOKというプラントもある。そこで、プラントの近くに地震のP波を感知し速報する装置を設置しプラント側に即座に情報が繋がるというシステムを開発中だということだ。彼をリーダーに数名のチームでやっており、最近大手のS社との契約で実験段階に入ったとのこと。成功すれば大変大きな貢献をすることになり素晴らしいことだ。その概要を伝えてくれる熱弁には思わず引き込まれてしまい、羨ましさを覚えるほどだった。

2年続きの同窓会、上にあげた例のほか、いろんな情報が3時間余りの間に飛び交ったが、総じて言えることは、90名の参加者のほとんどがリタイアした後も元気な生活を送っている点です。趣味であったり、ボランティア活動だったり、何らかの生きがいを見出していると実感した。次回は傘寿を迎える2020年オリンピックイヤーの同時期開催となる。その間どういふ変化が起きるのだろうか？

今からのお楽しみ。



ナゴヤドーム観戦ツアーに参加

9月1日(土)、恒例のナゴヤドーム観戦ツアーのお手伝いとして青年部員三名が参加しました。今年は3年ぶりの巨人戦ということもあり、参加人数が大きく増えました。球団史上ワーストの5年連続Bクラスでもがくドラゴンズ。今年もここまで最下位、なんとか宿敵読売巨人軍に一矢報いてほしいところですが、裏切り者ゲレーロのホームランなどでいきなり4点ビハインドの苦しい展開となりました。巨人の先発はエース菅野、終盤まで攻略の糸口が掴めず、このまま完敗かと思われました。しかし七回に打線が爆発し一気に同点に追いつくと、1点勝ち越された九回も土壇場で再び追いつき延長戦へ。その後はサヨナラのチャンスをモノにできず、そのまま引き分けとなりました。実は3年前の観戦ツアーも巨人相手に引き分けで終わっており、打倒読売はまたも持ち越しとなりました。来年もたくさんのご参加と熱い声援よろしくお願いいたします。



青年部研修会と情報交換会(青年中央会ガヤガヤ会議)

9月7日(金)、岐阜市のホテルグランヴェール岐山にて、青年部研修事業の研修会と、交流事業の情報交換会を行いました。大野会長が青年中央会の恒例行事であるガヤガヤ会議の実行委員長を務めていたこともあり、今年は青年部事業として参加しました。研修会では、金属団地の新入社員激励会でも毎年お世話になっている中小企業診断士の澤芳美先生にご講演いただきました。先生は歴史がお好きということで、歴史上のリーダーの逸話を題材としたリーダーシップのお話など、大変分かりやすい講演でした。

講演会の後は先生にもお付き合いいただいて交流会を行いました。例年騒がしいビアガーデンでの開催でしたが今年は宴会場が確保できたため、何度か席替えを行いより多くの方と交流できるような趣向となっていました。おかげで名刺を切らしてしまう方が続出するという大変活気のある交流会となりました。

参加者は会長以下2名と少し寂しい人数でしたが、年々人数が減っていく青年部、このままでは参加者2名などが常態になってしまいます。組合員の皆様、青年部はいつでも新会員募集中です。組合の活性化、企業の後継者教育のためにもぜひ青年部へご加入よろしくお願いいたします。



ブレーキプレス機の導入 ～ (株) 豊菱製作所 ～

2017年3月に弊社では80トンブレーキプレス機を導入いたしました。ものづくり補助金を取得できなかったものの、どうしてもあきらめきれず暫くぶりとなるブレーキプレスの更新を行いました。従来の設備5台を廃却し、最新型である1台を導入することにより設備の集約を図り、生産性の向上、スペースの確保を目的としました。導入をして1番感じたことは、暫く更新しない間に設備の技術は見違えるほど進歩しており、これまで当然やらなくてはいけないと思っていた段取り作業等の工数が無くなること、機械加工の精度やスピードが向上したこと等により大幅な生産性の改善がされたことです。また、安全面においても安全装置を付けたことにより安心感を持って仕事をしてもらえるようになりました。



▲導入したアマダ製HG8025



ブレーキプレス機の安全装置▶

特別寄稿

行きはよいよい、帰りは…

8月25日。台風20号の影響もあり、前日までの登山指数はC。Cとは「風または雨が強く、登山に適していません」というものです。一旦は宿をキャンセルし取り止めを決めたものの、T氏の執念にも似たこだわりの後押しもされ、再度宿を予約（予約諸々、ワタシは何一つしていません(;^_^A)。苦行になりそうな予感も少々抱きつつ、「まあとりあえず車で行けるところまで行って、ダメなら帰ろう」くらいのアバウトな感じで、当初の計画通り出発しました。

目指すは富士山山頂。

早朝は入山規制がかかっていましたが、朝8時、5合目の入口から見上げる空は素晴らしい青色。日頃の行いが良いのか、T氏のスキル「もってる男」が発動したのか、絶好の登山日和！標高2400mの5合目から3715mの浅間大社奥宮を目指し登り始めました。

すでに雲の上ですが、5合目から少し歩くだけで絶景に出会えます。（写真はT氏による8合目のポーズ）

「うお～」とか「すご～」とか言いながら、無心でシャッターを切りつつ、揚々と登っていき、12時過ぎ頃に山頂へ到着。



しばらく休んだのち、非日常感を楽しみながら、山頂をウロウロ。

浅間大社奥宮をお参りの後、大内院（旧噴火口）を一目見てから下山を開始。



と、ここで事件が…。なんとワタクシ、下山早々、滑落しましたw

おそらく後ろにいた人は何かイリュージョンでも見たかの如く、目の前からワタクシが消えたのではないのでしょうか。

今でこそ笑えますが、一瞬「死」を感じたのはホントです…。



登山は下山の方が危険とは言いますが、本当に注意深く足を下ろしていたにも拘らず、右足を乗せたところが崩れ2mほど落ちました。折れてはいなかったことに加え、救助されるのは恥ずかしかったので、何とか足を引きずりながら6時間ほどかけ下山しました。

辺りは真っ暗になりましたが、月と雲海から覗く山の頭が美しい景色を見れたのは良かった…かな。少し頭を出してる山がドラクエの天空の城みたいですね。

さて、今回学んだ教訓は2つ。

一つ、頂上まで行かなければ見られない景色はある

二つ、どんなに注意を払っていても、予期しないことは必ず起きる

会社と同じですね。

目標をもってやり遂げることが大事。挑戦の先には成功か学びしかない、ということ。

どんなことでも注意をもって（過信、慢心せず）、慎重に行うこと。

会社の月末の全体会議でこの話をしながら、社員には「予期せぬことは起きるということを前提に、ちゃんと注意をしながら行動するように」「少なくともつまらぬケガはしないように」と呼びかけました。

ちなみに、その日の午後、弊社では「つまらぬケガ」が早速起きました…。

情けない（´；ω；`）ウッ…

青年部会員 Y

総火演観覧記

青年部のY氏、T氏がニッポンの頂上を目指していたちょうどその頃。

麓の御殿場では、雲の下で「ドーン、ドーン」と爆音が響いていました。陸上自衛隊最大規模の演習、富士総合火力演習です。私は学生のころから毎年のように観覧応募をしましたが一度も機会に恵まれず。いつぞやは社員数名にも応募に協力してもらったことがありましたがそれでも当たらず。当選倍率はなんと30～200倍ともいわれています。そんな一度は見てみたかった演習、今年は運よくお誘いをいただいたのでついに念願かなって見に行くことができました。

会場は富士の裾野の広大な演習場なのですが、当日はあいにくの雨。演習開始後に雨は収まりましたが鉛色の雲がどんよりとたちこめて富士山は全く見えず、この時はまさか富士山の方が快晴だとは思ひもよりませんでした。

演習は前段後段に分かれており、前段ではまず陸自の主要装備が紹介されました。装甲車や戦車が次から次へと登場し実弾を発射する様子は圧巻でした。特に戦車の主砲というのは今まで聞いたこともないような音で思わず飛び上がりそうになりました。

後段演習では、某国が我が国の島嶼に上陸した場合の実戦演習が行われました。敵上陸地点への阻止攻撃から、敵に占領された地域の奪還作戦など映画さながらの迫力でした。普段は被災地の救助などで大活躍の自衛隊ですが、やはり一番のお仕事は国を守るために戦う事なんだなあと思感しました。そして、これを軍隊と呼べない憲法はやっぱりおかしいのではないかと考えさせられます。



さて、私も今回の演習で教訓が二つあります。実は演習後にバスに乗ろうとしたら迷子になりました(汗)。いつの間にか駅や駐車場へ向かうシャトルバスの列に並んでいて、気づけば遥か彼方の見知らぬ駐車場で降ろされてしまいました。慌てて同じバスに乗って会場まで戻りタクシーを拾って事なきを得たのですが……。原因はスマホを見ていて行先の看板をよく見なかったことと、初めに下車した場所をうろ覚えだったことです。よそ見やうろ覚え

えはイカン！まさに仕事と同じという事で私も訓示のネタにしようと思います。

もう一つは「雨男」です。実はY氏T氏の登山は私も行きたかったんです。でも日程が演習と同じだったのでこちらに来たんですが、陰でT氏たちは「アイツは雨男だから来なくてよかったゾ」とほくそ笑んでおり(?)、実際に雨予報だったはずの山頂は晴れ、私がいた麓の方が雨となってしまいました。私は数年前に2年連続で富士登山に挑戦し2回とも8.5合目で暴風雨に見舞われ断念した経験があります。演習はやっと見れましたが、雨男が富士山に登頂できる日は果たしていつになるのか……。

Y氏T氏、素晴らしい景色が拝めたのは、雨男のおかげですよ！

青年部会長

岐阜県金属工業団地の“地の利”は？・・・その活用促進を！

先月号では、県内の工業系高校の生徒が就職内定した企業の“求人情報”の分析結果を基に、各務原市内企業の雇用に関する課題を述べさせて頂きました。そのうちの一つ「従業員の教育制度」についての対策(案)を今月号では述べさせて頂きます。

図1は、市内及び市近隣の市に所在する“理系の教育機関”です。金属工業団地の通勤圏内に6校の工業系高校があります。これだけ多くの“新規工業系高卒の供給源”を近隣に持っている工業団地は、全国的に見ても『岐阜県金属工業団地』だけではないかと思います。この“地の利”をどのように活用してみえますか？7月1日に求人票を提出するために訪問するだけの関係ではもったいないです。経営者の方も高校を訪問して、生徒たちの活動の様子を直接ご覧になることをお勧めします。

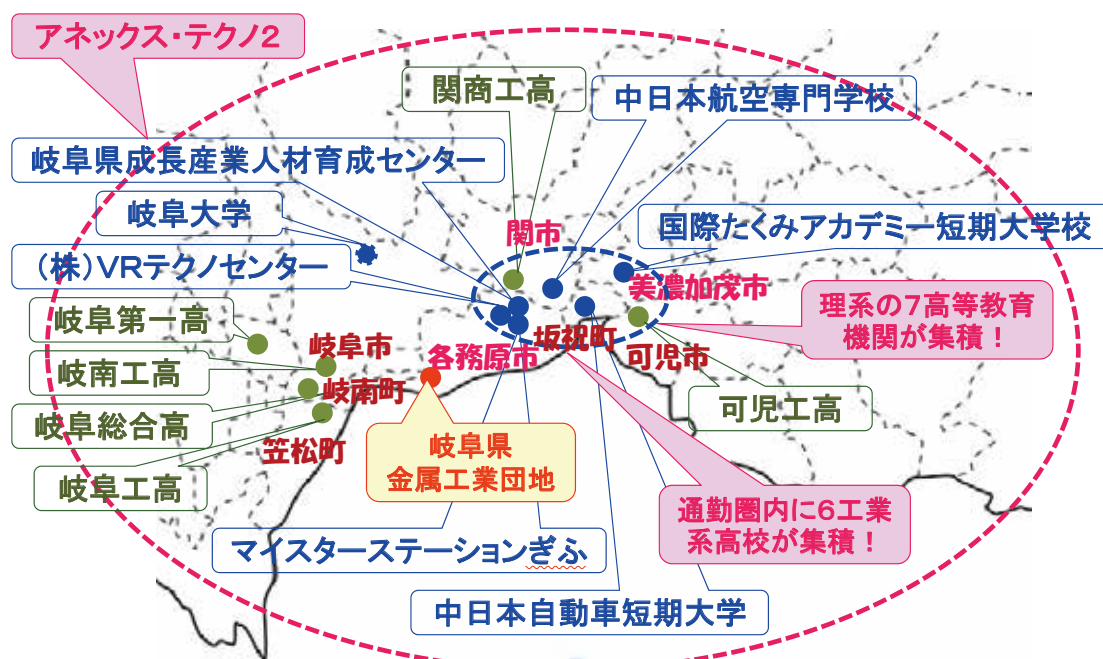


図1 各務原市及び市近隣に所在する“理系の教育機関”

また、市近隣には、「岐阜大学」を始め、「中日本自動車短期大学」、「中日本航空専門学校」、「国際たくみアカデミー短期大学校」の「理系高等教育機関」が所在しています。「国際たくみアカデミー短期大学校」では、企業の従業員向けの講座を多く開設しています。また、企業の個別の要望に応じた内容での講座の実施にも対応しています。岐阜県商工労働部の管轄で、受講に係る経費は“無料”となっています。新入社員研修や従業員のスキルアップ研修等に活用されることをお勧めします。

「岐阜県職業能力開発協会・マイスターステーションぎふ」では、各種技能検定の実施やマイスターを企業に派遣しての“若年技能者人材育成等支援事業”を行っています。企業は、厚生労働省認定の“ものづくりマイスター・ITマイスター”の派遣要請を行い、自社内で研修講座を実施することができます。対象分野は、金属熱処理、機械加工、金属プレス加工、仕上げ、検査、電子回路組み立てから、ITネットワークシステム管理等の111職種あります。ものづくりマイスターの派遣経費や指導に係る材料費は、既定の範囲内で岐阜県技能振興コーナーの負担のため、原則無料で従業員研修を行うことができます。(株)VRテクノセンター(岐阜県成長産業人材育成センター)でも、航空宇宙、メカトロ、CAD、人材育成等多様な企業向けの講座を開講しています。講座の受講費用については、1/3を各務原市、1/3を岐阜県が補助しており、企業の負担が1/3で済むように軽減が図られています。

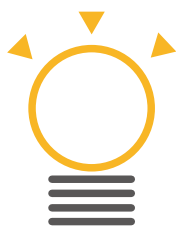
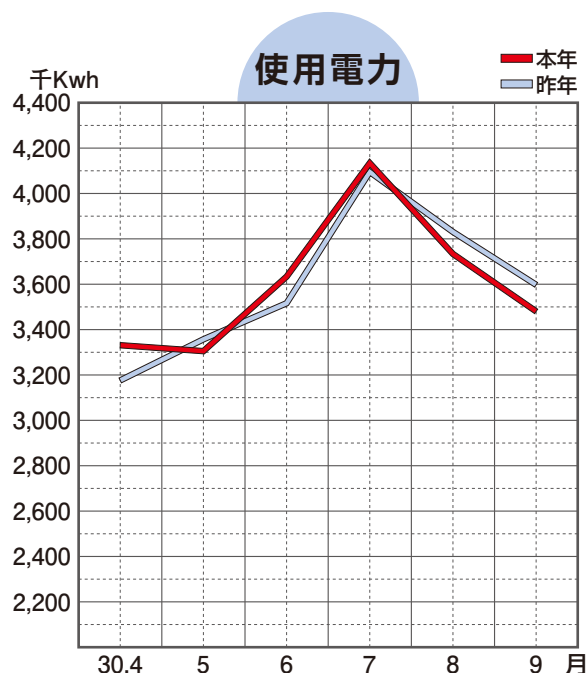
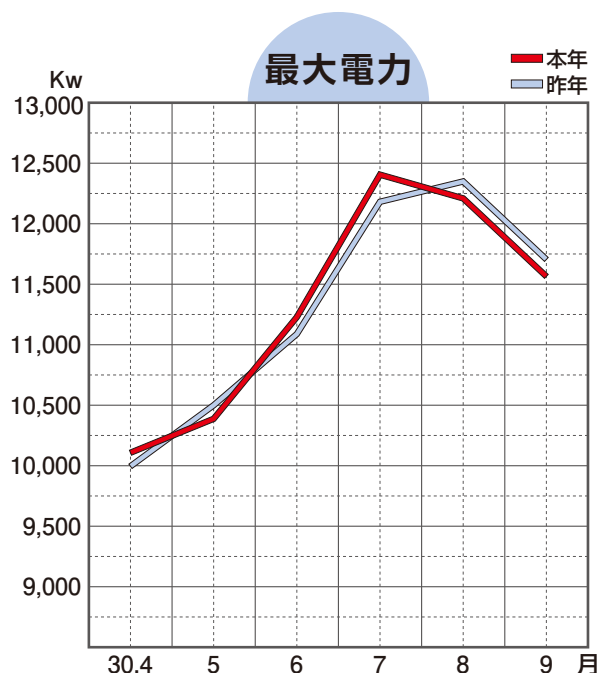
このような、行政が設置している市近隣の理系教育機関を“従業員の教育制度充実”のために活用されてはいかがでしょうか？次号では、これらの教育機関の詳細について述べさせていただきます。

(文責：各務原市産業活力部商工振興課 企業人材全力応援室長 長屋千秋)



お知らせ

平成 30 年 9 月分電力使用状況



電気は正しく使いましょう !!

電気設備の年次点検

年に一回、金属団地内の各企業の電気設備を停止させて、測定器具などを使用して、接地抵抗測定、絶縁抵抗測定、保護継電器の動作試験などを行うとともに、通電状態では点検できない充電部の清掃などを実施しております。

受変電設備は、遮断器、断路器といった開閉装置のほか、変圧器、保護継電器など、各種電気機器を組み合わせた装置があり、それぞれ耐用年数や寿命が存在するため、これら部品やケーブルは経年劣化によって故障することがあり、劣化の進み具合によっては電気事故に繋がります。

電気設備の点検には、経営活動を維持するだけでなく、労働者の安全を守るという大きな目的があります。点検中、ご迷惑をおかけ致しますが、ご協力下さいますようお願い致します。

行事予定

2018 **10** October

16 火	
17 水	
18 木	
19 金	
20 土	団地G 『組合休日』
21 日	団地内停電 (AM9:00~PM5:00)
22 月	
23 火	岐阜南間税会日帰り研修旅行
24 水	県環境推進協会 自主測定技術講習会
25 木	
26 金	
27 土	『組合休日』
28 日	
29 月	
30 火	
31 水	平成30年度事務局専従役職員研修会 (工団連中部ブロック協議会)

2018 **11** November

1 木	衛生大会
2 金	
3 土	『文化の日』 『組合休日』
4 日	
5 月	
6 火	
7 水	
8 木	
9 金	
10 土	『組合休日』
11 日	
12 月	
13 火	
14 水	
15 木	

■ 11月の行事予定

11月16日(金)~17日(土) 組合員親睦旅行(伊勢志摩)
 11月24日(土) 団地G
 11月26日(月) 三組合同講演会(月例会) 13:30~15:00

■ 9月度金属団地ゴルフ会

9月22日(木) 各務原カントリー倶楽部
 優勝 三島基成(三島精器) 2位 山村容弘(山村製作所) 3位 森田吉久(テクノ共栄)

<http://www.g-mecca.jp>

G-MECCA

GIFU METAL ENGINEERING COMMUNITY COOPERATIVE ASSOCIATION

